

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
1部1年 2部1年	保育者論	岡田耕一	
サブタイトル	保育者としての資質・能力を育む	単 位 数	2単位
授業形態	講義	出席要件	4 / 5以上
開講時期	前期		
到 達 目 標			
<p>① 専門職としての保育者に関わる関係法令を知り、説明することができる。</p> <p>② 保育者の職務内容及び保育者に求められる専門性（資質・能力）について理解し、実習で役立てることができる。</p> <p>③ 保育者として学び続ける姿勢、保育者としての成長について理解し、学生時代を有意義に過ごすことができる。</p>			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
<p>本講座は、カリキュラムマップにおける「基礎理論の理解」にあたる部分である。保育者となるための前提的な知識や使命を学び、自覚する内容である。また、他者との連携や協働、資質向上の在り方についても学ぶ。幼稚園教諭及び保育士の資格を得るうえで重要かつ意義深い内容である。</p>			
授 業 の 方 法			
<p>① 授業形態はテキスト、配布資料を用いての講義が基本である。</p> <p>② テキストや資料をベースにして、保育の現場における具体的な事例を扱い、話し合う時間を設ける。</p> <p>③ ①②を通じて学んだ内容を実習でも活かせるようなアドバイスをしたい。</p>			
テキスト・教材・参考図書			
<p>テキスト：①『保育所保育指針解説』 フレーベル館</p> <p>②『幼稚園教育要領』</p> <p>※②は①に付録として掲載されているので、購入不要。①のみ必ず購入すること。</p> <p>※毎回の授業で資料を配布するので、サブノートとして活用すること。</p>			
評 価 の 要 点		総 合 評 価 割 合	
<p>教員と学生が一緒になって展開する授業を目指しており、平常の学習姿勢を大切に評価したい。</p> <p>① 毎回の授業での発言内容、小レポート（授業内）を平常点とする。</p> <p>② 最終授業時に、総まとめとしてのテストを実施する。</p>		<p>① 平常点 30点</p> <p>② テスト 70点</p>	
履修上の注意事項や学習上の助言など			
<p>① テキストをフルに活用するので、必ず持参すること。</p> <p>② 積極的な授業参加を心がけること。</p> <p>③ 授業中の私語、居眠り、内職はしないこと。</p> <p>④ 授業中の質問は大いに歓迎する。</p>			

科目名 保育者論

授業回数別教育内容		身につく資質・能力
1回	① ガイダンス・・・保育者論について ② 幼稚園教諭の役割・職務内容1・・・幼稚園の教育	幼稚園の理解 職務の内容と責任の理解
2回	① 幼稚園教諭の役割・職務内容2・・・幼稚園の教育 ② 保育士の役割・職務内容1・・・保育所保育	幼稚園・保育所の理解 職務の内容と責任の理解
3回	保育士の役割2・・・保育所の保育内容	保育所の理解 職務の内容と責任の理解
4回	理想的な保育者とは 1・・・どのような保育者を目指すか	目指す姿の明確化と理解
5回	保育士の倫理・・・全国保育士会倫理綱領を読んで	保育者の道德観・倫理観
6回	保育におけるPDCA・・・計画的な保育実践	計画・企画力 省察力・改善能力
7回	養護と教育の一体化による保育・・・保育所保育の特色	保育内容の理解と保育実践力
8回	家庭との連携と子育て支援・・・保護者との具体的な関り方	子育て支援力
9回	幼稚園教諭、保育士の制度的位置づけ・・・幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園の比較をもとに	保育者の責務の理解
10回	保育の質の向上・・・観察と記録による幼児理解	幼児理解力
11回	保育における職員間の連携・協働・・・理想的な職員関係とは	コミュニケーション力
12回	地域や専門機関・関係機関との連携・協働・・・小学校との連携・接続を中心に	関係形成能力 問題解決能力
13回	保育者の専門性や資質の向上・・・様々な研修会を通じて	自己学習能力 多様な視点の理解
14回	理想的な保育者とは 2・・・倉橋惣三の保育者論を学ぶ	目指す姿の明確化と理解
15回	「まとめ」 これまでの学びをふりかえり、まとめる	専門的知識・技術の理解
試験	最終授業での試験を実施。	